

令和5年度

学校要覧



青梅市立新町小学校

《令和5年度に開校50周年を迎えました》

校長:塚田 直樹

主幹教諭:中前 勉

PTA会長:内野 剛

副校長:加藤大次郎

指導教諭:藤井 幸鼓

50周年実行委員長:松永 康宏

所在地 〒198-0024

東京都青梅市新町5丁目21番地の1

電話:0428-31-0268

FAX:0428-32-7026

メールアドレス: shinmachi-e@ome-tky.ed.jp

交通 JR 青梅線小作駅下車 徒歩25分

西東京バス『平松北』停留所 徒歩5分

《学校教育目標》

「自ら進んで行動する」
思いやりのある子【徳育】
学習する子【知育】
たくましい子【体育】

《新町小学区域の環境》

青梅市東部に所属し、新町4丁目~9丁目の全域・末広町全域、今井地域一部を学区とする。昔からの住宅地と新興の住宅街と新青梅街道沿いの商業施設や中小の工場があります。

《新町小 校歌・校章のいわれ》

井戸から水が出ている様子を表しています。近くに河川のなかった新町の住民にとって、井戸は生活する上で必要なものでした。400年前の新町地区を開拓した人々の苦勞を忘れないために校章や校歌の中にあります。

共に育つ（共育）・共に創る（共創）・共に働く（共働）新町小

地域に見守られ・支えられ

開校50周年

11月18日（土）50周年記念式典開催



青梅市立新町小学校

校歌

作詞: 館 盛光

作曲: 平川 律子

一 多摩の山々 かげろうにゆれ

富士ははるかに 白くかがやく

緑の風の 広野の中に

わが学び舎は そびえ立つ

二 梅の香におう 新町のさと

めぐみあふれて われらをつつむ

井戸のいわれを 心にしるし

まなびの道に はげもうよ

三 武蔵野拓く 理想をついで

未来を開く 希望は高い

からだをきたえ ところをみがき

なかよく築こう わが母校

◇児童数(令和5年5月1日現在)◇

学年	1年	2年	3年	4年	5年	6年	合計
学級数	3	4	4	4	3	3	21
児童数	105	107	125	123	119	107	686

本校上空30m 付近からの学校全景・3階からの大岳山・御岳山風景



沿革の概要

昭和 48. 4. 1 創立(校名 青梅市立新町小学校)初代校長 橋本浩美 就任
 昭和 48. 4. 6 開校式、入学式、始業式を挙行
 鉄筋校舎1棟、プレハブ仮設屋内体育館1棟、
 1年から5年までの10学級 児童数314名、教職員16名で発足

昭和 49. 1. 28 校章を制定
 昭和 49. 3. 23 校歌を制定、体育館完成
 昭和 49. 3. 24 校庭の固定遊具施設完成
 昭和 49. 5. 1 開校記念日とする
 昭和 49. 5. 17 校旗が完成する
 昭和 49. 10. 20 校舎落成式を行う
 昭和 50. 3. 24 第1回卒業式を挙行
 昭和 54. 4. 1 2代校長 石川正太郎 就任
 昭和 58. 3. 31 新設藤橋小学校へ、1~4年生21名が転出する
 昭和 58. 11. 20 創立10周年記念式典を挙行
 昭和 59. 4. 1 3代校長 土方順蔵 就任
 昭和 59. 5. 26 第1回PTA総会を開く
 昭和 62. 4. 1 4代校長 新井晋学 就任
 平成元. 2. 9 青梅市教育研究協力校として国語科で研究発表
 平成 2. 6. 2、平成 3. 11. 15 プール改修工事、体育館改修工事完了
 平成 5. 4. 1 5代校長 岩田 茂 就任
 平成 5. 5. 22 増築校舎4教室完成
 平成 7. 4. 1 6代校長 宮野佳彦 就任
 平成 10. 4. 1 7代校長 松田 貢 就任
 平成 11. 2. 27 青梅市教育委員会研究協力校発表 テーマ『今の子どもを見つめて』
 平成 12. 3 東京都ボランティア推進協力校に推薦される
 平成 13. 4 ~ 文部科学省 健康教育総合推進モデル事業実践中心校になる
 平成 14. 4. 1 8代校長 畑中 裕 就任
 平成 15. 4. 1 9代校長 宝泉義幸 就任
 平成 15. 10 事務室移動に伴い応接室を増築
 平成 15. 11. 22 創立30周年記念式典を挙行
 平成 16. 2. 28 『青梅健康フォーラム』で実践中心校としての成果を発表
 平成 16. 3 視聴覚室を普通教室に改築
 平成 16. 12. 1 心の広場と心の図書館完成
 平成 18. 4. 1 10代校長 山口 誠 就任
 平成 20. 4. 1 青梅市教育研究協力校(平19・20)として学習規律・生活規律の確立で研究発表
 平成 22. 4. 1 11代校長 竹田雄二郎 就任
 平成 24. 8 全普通学級、音楽室の空調施設(エアコン)設置
 平成 25. 5. 1 創立40周年を迎える
 平成 25. 10 第2図書室開設(東校舎2階)
 平成 25. 11. 22 学校農園 完成式典挙行(学校緑化モデル事業)
 平成 26. 8 水道管直結工事完了
 平成 28. 4. 1 12代校長 仁藤茂則 就任
 平成 29. 6 放課後子ども教室として夕やけランド開始
 平成 29. 9 第一図書室の空調設備工事完了(エアコン)設置
 平成 30. 4 青梅市中央図書館図書連携推進モデル校に指定
 平成 30. 5. 7 特別支援教室『みらい Labo 新町』開級
 平成 31. 1. 18 青梅市教育委員会研究指定校研究発表会(平29・30)『国語』
 平成 31. 4 コーディネーショントレーニング地域拠点校に指定
 令和元 11. 15 トイレ改修工事完了
 令和 2. 3~4 新型コロナウイルス感染症蔓延防止のため全国小・中学校休校措置
 令和 2. 3. 9 東京都 子供の体力向上推進優秀校 受賞
 令和 2. 4 東京都動物飼育推進校に指定
 令和 2. 11 特別教室5教室の空調設備工事完了(エアコン)設置
 令和 3. 4 東京都動物飼育推進校(2年目)に指定
 令和 4. 4. 1 13代校長 塚田直樹 就任
 令和 5. 4 東京都体育健康教育推進校に指定
 令和 5. 11. 18【予定】 創立50周年記念式典

特色のある教育活動



異学年交流のある活動

『ふれあい広場』『なかよし集会』『たてわり班活動』



地域の歴史をよく知る活動・青梅学の推進
 歴史ウォークラリー(6年)

P T A・地域との連携



地域との連携活動

『PTA 活動』『ボランティア活動』

《主な学校行事予定》

《1学期》

4月 始業式・入学式 定期健康診断 保護者会 1年生を迎える会 全国学力・学習状況調査(6年) 離任式
 5月 第50回開校記念日 コミュニケーション週間 教育実習期間 遠足(3年) 都学力学習状況調査(6年)
 6月 都学力学習状況調査(4,5年) 水泳指導 安全教室(低・中) 授業参観/保護者会 日光移動教室(6年) 社会科見学(3年)
 7月 ふれあい広場 引き取り避難訓練 授業参観/保護者会(6年) 水泳指導終 終業式

《2学期》

8・9月 始業式 道徳授業地区公開講座 社会科見学(5年)
 10月 第51回運動会 社会科見学(4年) 遠足(1・2年) 御岳自然教室(5年)
 11月 就学時健康診断 理科見学(4年)
 12月 セーフティ教室(高) 保護者会 終業式

《3学期》

1月 始業式 社会科見学(6年[国会議事堂等])
 2月 展覧会 保育園児小学校訪問(保・小連携事業) ありがとう6年生
 3月 第50回卒業式 令和5年度修了式

令和5年度 校内研究【研究主題】

運動する楽しさを味わい、意欲的に取り組む児童の育成
～対話的な活動を通して～

令和5年度 青梅市立新町小学校 学力向上推進プラン

『誰もが伸びる・分かる授業のための指導力向上(授業力向上/授業改善)や学力維持&向上に取り組みます』

児童の実態と講じた手立て

- これまでの「東京都児童・生徒の学力の向上を図るための調査」や「学校独自の学力調査」の結果及び分析や本校の評価規準に基づいた、学期末の学習評価結果
- ・C、D層の40～60%以上 C/B層の底上げ⇒基礎内容の繰り返し学習へ
- ・自己肯定感の低下/語彙力の不足 ⇒発表学習の場の設定 ⇒自己肯定感の確実な育成
- ・家庭学習の定着、内容見直し ⇒音読の取り入れ 文章理解 周知/評価/励ましの依頼
- 基本的な生活習慣を身につけている児童が増える傾向

学力調査から見える児童の実態【概略】

- 習得した知識・技能を活用するための家庭学習の時間の定着、学習の中で文章を読む時間が少ないことが文章の理解力や語彙力の不足につながっている。
- 授業力向上のために、職員間での『授業を見合う』回数や場面(環境)の減少
- 児童の自己肯定感や認められる回数や時間の低下
- 人前で発言することの場の少なさや回数の不足

学校教育目標

自ら進んで行動する 新町の子
思いやりのある子(徳育)
学習する子(知育)
たくましい子(体育)

関係法令等

- 教育基本法・学校教育法
- 新学習指導要領

東京都教育委員会の教育目標
青梅市教育目標 学力向上施策
(青梅市学力向上5か年計画)

学校経営方針(学力向上にかかわる要点)

- 確かな学力を身に付け、学び続けることで、自己形成と自己表現へと続ける。「何が出来るようになるか」「何を学ぶか」「どのように学ぶか」等を児童の学力向上・教員の授業力向上を目指す。一人一台端末(タブレット)の活用を週3～5時間以上活用をする。家庭でもタブレットを使用する。教材提示や使い方の決まり【ルール】の策定等の環境整備を実施する。
- 学習の基礎、基本的な学習内容の確実な定着 読書や音読・新聞・辞書を活用して文字に触れる・調べる機会を増やす。
- 既習事項の活用・めあての明確化 学習の流れの確認
- 視写や音読、日記活動等『読ませる、書かせる』ことを取り入れた家庭学習の習慣化を図る。
- 課題発見、解決力の向上・表現力、伝達力の充実「コミュニケーション力」・学びの力を育てる 体験学習の推進、地域を知る学習の充実

児童…自己のよさの発見、自主学習がてきる。
教員…児童の可能性を見出す。評価する。
★「追究」 学びに向かう力 up
★「定着」 知識・技能の up
★「継続」 思考力・判断力・表現力 up

《指導の重点》 誰もが伸びる、分かる授業の実践・健康体力の増進のための共育・共創・共働

各教科 年間を通じ児童の実態に応じた細やかな指導を行い、基礎的・基本的な内容の確実な維持/定着を図る

- ★青梅市学力向上5か年計画に基づく…力の付く授業の展開⇒学ぶ意欲のわく授業の創造⇒一人一台端末(タブレット)の活用★
- 習得した知識・技能を活用するために、学習の振り返りの徹底や毎時の学習内での実施および確認・その後の授業に活かす。
- 言語活動の授業の充実のために音読・漢字の読み書き、辞書活用、基本問題を中心に多くの問題を授業で実施する取組み
- 国語/算数の技能獲得のための週2～3回朝の短時間漢字練習や計算プリントの取組み、授業内・家庭学習(学年×10分以内)の繰り返し学習の取組み
- 体育科の健康維持や体力を伸ばすために、日々の授業の改善や活動を通して、何事も意欲的に運動にチャレンジする児童の育成の取組み

深い学び・対話的な学びの授業を通して、表現活動を重視し、伝える力を育成して、学力維持から学力を伸ばす学校へ

A/B層児童数<C/D層児童数

令和5年後半期達成目標

A/B層児童数=以上>C/D層児童数

特別の教科 道徳

- 自分で考え、行動⇒『考動(造語)』ができるような実践の場を増やす。
- 相手のことを考えた行動や生活の規範を実践、身に付ける。
- 教育活動を通し、物事の善悪を判断する。正しいと思う、感じることに勇気をもって実践する態度を養う。
- 思いやり、感謝の気持ち、物を大切にしている心、奉仕の精神を養う。

総合的な学習の時間

- プログラミング教育、PC(タブレット)を含む情報機器を活用してのマネー活用方法、リテラシーを学ぶ。
- 地域・青梅市理解の青梅学の推進
- 国際化、情報化等に的確に対応できる力を育成する。
- 問題解決的な学習や体験的な学習を通して、学び方やものの考え方を育てる。発表の場の設定

特別活動

- 話し合い活動を通して、自分たちの生活を高め合う活動を増やす。
- 開校50周年を祝う行事をみんなで創り、みんなで祝う。
- 望ましい集団活動・異学年交流活動や学校行事を通して、個性の伸長を図るとともに、児童の自主性・社会性を育成する。また、思いやりと好ましい人間関係を育成する。

校内組織図

